



図書室の本を買ってくれたのはだれ?

国や北海道や札幌市が税金を使って買ったものがたくさんあるよ。
このシールは札幌市で買ったことを表しているよ。

図書室の本が無料のなぞ

ぜいむさんたちが調べた結果、なんと300万円以上の本が図書室にあることがわかりました。

よし子さんは、「こんなにお金がかかっているのに、ただで借りられるなんて、よく考えると不思議ね」と、校長先生や教頭先生に聞いてみることにしました。

国民が納めた「税金」で、
この本を買っているんだよ。
だから、借りるとき
お金を払う必要はないんだよ。



他にもあるかな?探してみよう!

よし子さんの報告を聞き、まなぶさんは、学校には図書室の本以外にも無料で使っているものがたくさんあることに気づきました。

そこで、「学校探偵団」を結成し、シールのついたものを探すことにしました。

学校探偵団 報告書

シールのついていたもの

シールのついていたもの	



よし子さんは、税金のことを調べるなら「税務署」と考え、札幌中税務署に問い合わせ、次のようなことを調べました。

国と札幌市が負担するもの

校舎及びボール、マット、
ビーカー、フラスコなどの教材



国が負担するもの

教科書



楽しい学校生活は、税金のおかげだったんだ!

1年間で小学生一人のために使われる税金は、

約114万円

(令和元年度 北海道)

そういえば、教科書は
ず〜っとタダで
もらっていたなあ...